

発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
小角道男
八尾市高美町5-3-4
TEL(072)992-0119
FAX(072)992-7722



消防出初式

平成24年1月9日(月)大阪府中部広域防災拠点で、新春恒例の消防出初式が挙行されました。

田中久夫市議会議長を始め、たくさんの方々と市民の皆さんが見守る中、消防へりの祝賀飛行、徒歩部隊・車両部隊の分列行進で幕を開けました。

田中市長の式辞では、「昨年の大規模地震や水害など、地域全体に及ぶ災害での教訓を胸に今年もより一層、身体に気をつけて頑張ってほしい」との言葉をいただき、消防団員としての身の引き締まる思いがしました。

最後は、消防職員・団員による一斉放水で、今年一年の力強さを感じさせる素晴らしいスタートを切りました。

また、昨年に一致団結して規律訓練を見事に成功させた功績により団長表彰を受賞した、植田分団長率いる高安分団一同は、昨年の訓練を活かし、今年はいよいよ一層防災意識を高め地域の安全確保に努める覚悟です。

高安分団 阪井 俊樹
五枝 伸浩

地域防災力の向上をめざして



八尾市消防団長 小角 道男

皆様には、平素から地域の安全・安心を守るため、日夜献身的な消防団活動にご尽力をいただき、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

また、その活動の良き理解者であるご家族の皆様に対しまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は未曾有の大災害となつた東日本大震災をはじめ、台風による土砂災害など自然の猛威により全国各地で多くの尊い人命・財産が失われました。

東日本大震災では、多くの消防団員が、強い使命感を持って活動しましたが、誠に残念な事ながら、二百五十名を越える消防団員が殉職されると言う痛恨極まる事態となりました。

しかし、このような崇高な消防団の活動により、多くの住民の尊い生命を救うことができ、消防団に対し高い信頼を得たと

ころでもあります。

八尾市消防団としましても、平成24年度には、地域の防災拠点である消防団龍華分団と八尾分団の消防機械器具置場の建替えをはじめ、消防団車両や資機材の更新整備を行うとともに、時代に即した訓練や研修の実施、また、自主防災組織との連携・協働の推進を図つてまいります。

更に、消防団の活動が多様化している中、高齢者世帯への防火訪問や防火指導など、地域にとけ込んだきめ細かい消防団活動を目指して女性消防団員の入団促進にも取り組み、より一層の地域防災力の強化・充実に努め、市民の皆様が安心して暮らせる地域づくりに全力で取り組んでまいります。

消防団員の皆様には、市民の信頼に応えるべく大規模災害への対応も視野に入れまして、引き続き、地域の安全・安心に貢献していただきます様お願い申し上げます。

結びに、被災地の一日も早い復興と、団員ならびにご家族皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

大阪府消防表彰受章

平成24年3月25日(日)平成23年度大阪府消防表彰式が行われ、本市からも知事表彰をはじめとして多くの団員が栄えある表彰を受章しました。

【大阪府知事表彰】

○消防功労章

- 西郡分団 副分団長 内山 正
大正分団 副分団長 杉本 啓一
山本分団 副分団長 川上 剛弘

【大阪府消防協会定例表彰】

○功績章

- 団本部 副団長 西野 仁

○永年勤続章

- 西郡分団 分団長 河野 光春
志紀分団 副分団長 山本 悟秀

○勤続章

- 久宝寺分団 分団長 横山 典久
大正分団 分団長 嶋野 雅一
南高安分団 副分団長 松浦 伸明
志紀分団 副分団長 森 秀樹
志紀分団 団員 近江 弘行

○勤功章

- 八尾分団 分団長 小川 元清
曙川分団 副分団長 桐山 和浩
南高安分団 副分団長 坂本 美英
高安分団 副分団長 田中 孝昭
山本分団 副分団長 西川 政弘
志紀分団 副分団長 森脇 和信

○精勤章

- 久宝寺分団 副分団長 岡井 淳治
八尾分団 副分団長 岩崎 弘純
八尾分団 部長 武林 広高
南高安分団 副分団長 畑中 喜幸
南高安分団 部長 辻野 茂樹
南高安分団 部長 小林 久男
高安分団 部長 中谷 巖
山本分団 班長 向井 大二
志紀分団 部長 山科 雅一
志紀分団 班長 笹井 伸彦

【平成23年度大阪府水防表彰】

団本部 副団長 西野 仁
長年にわたり水防に尽力した功績から西野副団長が「大阪府水防表彰」を受賞され、大阪府西大阪治水事務所授与式が執り行われました。



歳末特別警戒 (一人暮らし訪問)

平成23年12月10日(土)に西郡地区にお住まいの一人暮らしのお年寄りを訪問させていただきました。

参加は、山本分署の職員と西郡分団からは、河野分団長と私が参加しました。

ご不在もありまして、「やばい・・・、火の見櫓の原稿書けるやろか?」と、ちよつと焦りましたが3人の方々と火災予防や防災などについて気軽にお話ができコミュニケーションを深めることができました。

ご協力ありがとうございました。特に強調したいことは、寝室と台所等の住宅用火災警報器のことです。

設置事例を調べると、専門業者が付けたのに、適切な場所に設置されていないお宅もありました。「こないしてつけましょう!」っていう、パンフレットもありますので、また道で会いましたら気軽に私に声を掛けてください。

目指しましょう!地域の防災力向上!!

西郡分団 坂根 和男



八尾分団防ぎよ表彰受章

平成23年6月21日(火)八尾市楠根町地区で発生した建物火災において、消防団長から八尾分団が防ぎよ表彰を受賞しました。

午前6時より消火活動を開始し約2時間後の午前8時に無事鎮火しました。

工場密集地帯であり、延焼の危険がある中、武林団員を先頭とする分団員の活躍により被害を最小限に食い止めることができました。

八尾分団 鈴木 卓也



歳末特別警戒

平成23年12月29日(木)、30日(金)の両日、八尾市全域で歳末特別警戒が実施されました。

29日に、小角団長、団本部の激励を受け、各分団は管轄区域内をポンプ積載車で防火広報をしながら夜遅くまで巡回パトロールを実施しました。

また、今年には亀井地区で自主防災組織が結成され、地域で自主的に夜警をしているところが例年

上に多く、心強く思ったとともに地域住民の防災意識の高揚を感じることができました。

龍華分団 廣岡 勝



中河内地域防災フェアIN久宝寺

平成23年11月26日(土)「中河内地域防災フェアIN久宝寺」が久宝寺緑地で開催されました。

この防災フェアは毎年、大阪府主催により行われているもので、自衛隊や消防などが参加し、煙中体験や非常食の試食会等、災害時の備えを体験できるイベントです。

今年の防災フェアは、もっと一般の方にも防災意識を高めてもらおうと久宝寺プールを使い「放水体験」を実施することになり、西郡分団が参加しました。本番当日は天気も良く絶好のイベント日和で、子供さんからお年寄りまでたくさん参加をいただき、盛況のうちに無事終了しました。

西郡分団としても、今回の体験でポンプ操作方法や実際の火災現場での放水に関する注意点等多くの事を学べたと思います。今回の体験を活かし、定期的な久宝寺プールでの放水訓練を今後もしていきたいです。

西郡分団 澤田 吉行



機関員研修

平成23年11月13日(日)消防団特別教育(機関員研修)が府立消防学校において実施され、龍華分団の岸分団長とともに受講させていただきました。

この研修は、可搬ポンプ積載車等の構造に関する基礎的知識を理解し、迅速、的確に運用できる技能を修得することが狙いで、当日は大阪府下より約80名の消防団員が参加して行われました。

開講式に始まり、午前中はポンプメーカーの社員による消防ポンプの構造及び始業点検の説

明があり、続いて実際に発生した事故事例を参考に、故障状況を含めた対応方法や事故防止のための管理方法を学びました。昼食を挟んで午後からは、可搬動力ポンプを実際に使用してエンジン始動から放水までの一連の流れ及びポンプを2基使つての中継送水運用方法について学び、約6時間の研修を終えました。

私自身、この研修を受講するまで「自団のポンプは、放水できるから特に大きな問題はないだろう」という極めて安易な考えを持っていました。

ところが、受講してみてもメンテナンスに関して、相当怠っていることを痛感しました。

また同時に、以前より「故障かも知れない」と気にかけていた状況が数点あったのですが、その対処方法を教わったことは多大な収穫となりました。

今回の研修を分団に持ち帰り、ポンプの構造や点検に対して、全員がその知識を深めるよう伝えていくとともに、災害に備えて常に最良の状態を維持できるように努めていきたいと感じました。

久宝寺分団長 横山 典久



久宝寺寺内町燈路まつり

平成23年9月11日(日)久宝寺寺内町において「久宝寺寺内町燈路(とうろ)まつり」が行われました。

今年で第3回目、大阪ミュージアムにも登録され、活気づいておりました。

また、市内はもとより、市外からもたくさん見学者が来られました。

町並みに灯される燈籠は150個、その内木製の燈籠が200個、プラスチック製の灯火カップ1300個には、地元幼稚園、小学校の子供たちの個人それぞれの想いや絵などが描かれていました。

久宝寺分団は燈路まつりの中心となる、まちなみセンターと顕証寺の東西2筋、南北3筋の周辺5箇所交通整理をしました。

約450年の歴史がそのまま残っているところが多く我が久宝寺分団も地域に密着した活動と、地域住民の生命と財産を守るべく、日々研鑽に励んでいかなければならないと再確認しました。

久宝寺分団 高田 卓



南高安分団は、1月のほとんどの参加を始め、8月1日の夏祭秋の地元農園の収穫祭、はたまた町会の防災訓練等と地域の要請があるところに積極的に参加しております。

分団紹介 南高安分団



また、毎月1日に定例訓練16日に自主訓練と月に二度、消防自動車のポンプの点検及び火災を想定した訓練を行っております。

さらに、東に信貴山を望む地域でありますので、年に一度山火事を想定し消防署の方々も交え大々的に訓練を行っております。

このような訓練を繰り返し行い、団員皆が消火装備の取り扱いを熟知し新しい技術を修得できるように活動しています。

南高安分団 松浦 洋憲

分団紹介 山本分団

山本分団は上之島・上尾・東山本・福万寺の4分隊で構成され、分団員総数49名の大所帯です。

普段は分隊単位で活動をするときも多いのですが、分団全体の交流と意思統一を図るため、様々な取り組みを行っています。

分団としての活動方針は、月に1回開催される幹部会議で決定し、その結果を各分隊での活動に反映させています。

火災発生時には当然のことながら、全員が一致協力して消火活動にあたっています。

また、新団員の歓迎会は団員の経営する中華料理店で全分隊合同で開催し、毎年大いに盛り上がっています。

歳末特別警戒時には巡回時に各分隊の屯所に立ち寄り、互いを激励するとともに親睦を図る場としています。

更に、平成23年度の規律訓練では、高安分団と合同で参加する機会を得ることができました。

山本分団では、これまで小型ポンプ操法に参加したことはありませんでしたが、規律訓練に参加したことはありませんでした。

3か月間の訓練期間で、分団員の結束を図るとともに、「北東方面隊」を構成する山本分団・高安分団が交流できたことは、大きな財産となりました。

山本分団 寺内 亮仁



秋季消防総合訓練

平成23年11月21日(月)午前10時から八尾市立総合体育館(ウイング)において、自衛消防隊、消防職員、消防団員、消防関係車両9台による秋季消防総合訓練が実施されました。

施設2階より出火、延焼拡大中で逃げ遅れた要救助者がいるとの想定で、梯子車及び消火隊による放水、救助隊による2階からの要救助者の救出、避難誘導等が行われました。

形式だけのものではなく、より実戦的で緊張感のある訓練で、こういう中身のある訓練の積み重ねがいざという時の力になると実感しました。

また、現場指揮本部の号令のもと各隊の連携が、いかに重要かということも改めて感じられました。

曙川分団 杉原 弘恭



厚生事業(ボウリング)

平成23年10月22日(土)八尾市消防団厚生事業として、田中市長参加のもとボウリング大会が行われました。

当日は、14名の団員が参加し、熱戦が繰り広げられました。

私自身、毎回参加させていただいていますが、今回初めて広報部会を担当した中でいろいろな方々と知り合え、いつもと違った楽しい大会になりました。結果は次のとおりです。

優勝 曙川分団 北林 丈善
準優勝 南高安分団 西山 勝博
第三位 志紀分団 西村 俊彦
ハイゲーム

201点 曙川分団 北林 丈善
志紀分団 井形 肇



文化財訓練

平成24年1月26日(木)八尾市本町の慈願寺において文化財訓練が行われました。

慈願寺は、1280年、浄土真宗の開祖である親鸞の直弟子24人の内の一人、信願房法心が親鸞聖人の遺命により河内国久宝寺村に建立されました。

約730年の歴史があり、八尾市指定の文化財が数多く所蔵されています。

訓練は、午前10時から慈願寺関係者、消防職員、消防団員により重要物品の搬出、慈願寺内延焼想定箇所への放水訓練及び救急隊による応急処置訓練等が本番さながらの緊迫感の中、行われました。

私事ですが、消防団に入団して5年目で初めての大きな訓練で実戦さながらの体験をし、寒さも吹き飛びました。

八尾分団 山地 睦真



若なる会親睦旅行

平成24年2月4日(土)、5日(日)に消防団幹部で構成する若なる会の親睦旅行で岐阜県の下呂温泉に行ってきました。前週からの寒波の影響が心配されましたが、逆に雪景色が美しく風情ある旅行となりました。気心知れた仲間との旅行でもあり、あつという間の2日間でした。

南高安分団長 森山 敏



大正小学校と大正北小学校の消防学習

平成23年9月8日(木)に大正小学校で、10月6日(木)に大正北小学校で、それぞれ四年生を対象に消防職員の方々と大正分団で消防学習を行いました。大正小学校では今西部部長が、大正北小学校では、杉本副分団長が消防団の話をして、その後消防職員の方に防災について話をさせていただきました。

それから消防車の説明、資機材の説明、水消火器を使用した初期消火体験をもらい、最後に大正分団でポンプ操作を行いました。

大正北小学校では、40m級の梯子車に、各クラス2名ずつ乗車してもらいました。

みんな興奮し喜んでいました。生徒の多くが、「いろんな体験ができて楽しかったです」と感想文に書いてくれました。

このような消防学習を通じて、消防・防災のことを学び、いつどこで起こるかもしれない災害に、私たちも子供たちも備えることが重要だと思います。多くの方々の協力により無事、

消防学習を行うことができ、本当に有難うございました。このような活動をできる限り、続けていかなければならないと思います。

大正分団 西山 孝文



● 広報部員名簿 ●

委員長

西部分団

澤田 吉行

副委員長

南高安分団

竹澤 寛

委員

志紀分団

西村 俊彦

久宝寺分団

吉川 明憲

西部分団

高田 卓

八尾分団

坂根 和男

龍華分団

山根 睦真

大正分団

鈴木 卓也

曙川分団

辻村 良弘

南高安分団

廣岡 勝弘

高安分団

西岡 孝文

山本分団

中山 憲一

志紀分団

野中 健司

山本分団

杉原 弘恭

高安分団

松浦 洋憲

山本分団

坂本 裕規

山本分団

阪井 俊樹

山本分団

寺内 伸浩

山本分団

樋口 亮仁

志紀分団

井形 次肇

編集後記

皆様のご協力のおかげで無事第29号発刊となりました。記事の提出から構成までスムーズに進み本当にありがとうございました。

澤田 吉行

東日本大震災 ボランティア活動報告

私は、平成23年12月2日(金)から12月5日(月)まで、大阪府消防協会主催の震災ボランティアとして、大阪府下の消防団の代表として総勢20名で、東日本大震災の被災地に行ってきました。

2日の午後8時15分に大阪を出発し3日の正午に釜石消防署に着きました。

釜石市鶴住居町の鶴住居仮設団地で実施する救命講習とAEDの指導、初期消火訓練の指導がボランティア活動の内容です。施設の皆さんは、真剣に訓練に取り組んでくれていました。

八尾市の消防団員3名は、初期消火訓練の指導でしたが、現地が大雨のため中止になり救命講習の指導を補助することになりました。

施設の皆さんが笑顔で、私たちに頑張ってくださいと言われた時には、逆に勇気付けられました。

施設を後にし、今度は津波で被害にあった町を視察に行きました。そこは、全く別世界で、言葉にできないくらい心が痛く

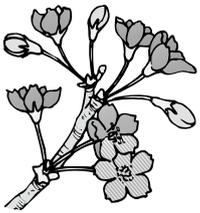
なりました。

片付いている所もありますが、まだそのままの所もありました。

今回の活動を通じて一般のボランティアも必要だけど、消防団のボランティア活動も必要だと思えました。

またこういう活動に参加できる機会があれば是非参加したいと思えます。

久宝寺分団 武田 大輔



平成23年3月11日、午後2時46分東北地方にマグニチュード9.0の地震が起こりました。

復興のお手伝いで、大阪府消防協会より『震災ボランティア参加』の募集がありました。

私はチャンスがあれば、行きたかったので参加を希望しました。八尾市消防団からは、久宝寺分団武田団員と志紀分団米田団員と私の3名で行かせていただきました。

集合場所で大阪府下の消防団員18名と事務局の2名が集まり、バスで、大阪府消防協会等の皆様の激励を受けつつ岩手県釜石市を目指しました。

距離は、約120kmとバスの運転手さんが話していました。翌日3日正午ごろ、釜石市消防本部に到着を報告し、活動服に着替えて早速活動をしました。

内容は、仮設住宅でのAEDと消火器の講習の実施です。

AED講習では、2名の女性指導員の方が丁寧に分かりやすく仮設住宅の皆様へ、使い方を説明しておられました。

消火器の講習は、あいにくの雨で実際に使用していただくことはできません、屋内での説明になりましたが、班長をされた秋山

千早赤阪村副団長が分かりやすい説明をなさっておられました。

この講習で私は、自分がしっかり分かってないと、伝えることは難しいものだと感じました。

活動が終わりに、宿舎へ行くとき、大阪府下のボランティアの方々と、交流会をしました。

歌や、楽器、手話に、奇術等のサークルの皆さんが、仮設住宅を訪問しているとのことでした。明けて4日は釜石市消防団長に、お話を聞きました。

さまざまな体験や、感想を話された中、特に印象に残ったのは、「大阪府緊急消防援助隊の皆さんは、地震翌日の12日には到着し本当に助けて下さった」と、言われたことです。

本当に感謝しておられる様子が、ひしひしと感じられました。緊援隊が活動するには、本部に残って守られる方、後方を支援する方と、それぞれの役割をきっちりこなされ、私たちにも釜石・大槌の皆様へ「ありがとう」と言っていただけのこと、同じ大阪のものとして、とても誇りに思いました。

行かせていただけて、ほんま良かったです！

ありがとうございました!!

西郡分団 坂根 和男